



▲沢登りなどの楽しい野外活動を通し、大勢の仲間ができました

中田で八ん子かっぱ村 小学校最後の夏を満喫

栗原市花山の国立花山青少年自然の家で8月6日から8日までの2泊3日、第17回八ん子かっぱ村が、開催されました。この事業は中学校入学前の仲間づくりをし、中学校進学時に出身校が違っても仲良くできるようにと毎年開催されていて、中田地区5校の小学6年生146人が参加しました。児童たちは、2泊3日の合宿生活で、野外活動やグループ活動などを通して他校の友達をたくさん作り、小学校生活最後の夏休みを満喫していました。

南方子育てセンターでぼっぼまつり 手作りの出店がお出迎え

南方子育てサポートセンターの利用者を対象に8月7日「ぼっぼまつり」が開催され、赤ちゃんから大人まで総勢161人が参加しました。祭りは児童クラブのおみこしでスタートし、夏祭りの雰囲気味わってもらおうと児童クラブの子供たちと一緒に準備した金魚すくいやくじ引き、水ヨーヨー、お化け屋敷などの出店がずらりと並び、地域の皆さんをお出迎えしました。祭りの終わりには、ゲストの清水バンドさんから素敵な歌がプレゼントされるなど、参加者は大いに夏祭りを楽しみました。



▲大勢の子どもたちが集まり、各出店とも大人気でした

迫でマリンスポーツフェスティバル 真夏の楽しい思い出作り

市内小学生の交流やマリンスポーツの普及を目的として「登米市マリンスポーツフェスティバル」が8月5日、長沼ポート場で開催され市内小学生69人が参加しました。児童たちは、始めに指導員からパドルの使い方やライフジャケットの着用方法などの説明を受けた後、カヌーやローボートなど普段なかなか体験できないマリンスポーツに挑戦しました。また、水難事故防止のためペットボトルやビニール袋を使った浮遊体験も行われ、参加した児童は「楽しい夏休みの思い出ができた」と話していました。



▲乗り込む時は怖かったけど、慣れるととっても楽しいよ



▲生活の目標を書いた紙や、壁新聞など懐かしい資料がたくさん

豊里タイムカプセル開封式 懐かしい思い出を掘り起こす

二ツ屋活性化センター（旧二ツ屋小学校）で8月8日、タイムカプセルの開封式が当時の在校生や教職員、地域住民など約60人が参加して行われました。掘り起こしたタイムカプセルは、昭和55年3月の閉校の際に埋設したもので、校舎敷地の転用の際に一時行方がわからなくなっていました。当時の在校児童が中心になって「思い出ほりおこし隊」を結成し今回発見されました。カプセルの中には学級日誌やアルバム、文集などが入っていて、参加者は当時を懐かしみながら思い出話に花を咲かせていました。



▲早朝から新鮮な地元産の野菜や加工品を買い求める来場者

石越町ふれあい朝市 早起きは三文の徳！

石越町朝市事業推進会議が主催する「ふれあい朝市」が8月12日、JAみやぎ登米石越支店駐車場で行われました。午前6時の花火の音を合図に朝市が始まると会場には多くの皆さんが来場し、100組限定で準備した目玉商品の石越産大豆100%使用の納豆、豆腐、油揚げが入った「ニコニコセット」が早々に完売するなど多いに賑わいを見せていました。また、出店コーナーでは地元産の新鮮な野菜や生花などが出品され、来場者は生産農家と会話をしたり、新鮮な商品を購入したりして朝市を楽しんでいました。

米山で姉妹都市入善町との交流事業 県を越えて子どもたちが交流

市と姉妹都市の富山県入善町の小中学生18人が、7月28日から30日までの3日間米山を訪れ、町内の児童と交流をしました。この事業は、昭和初期の入善町からの入植をきっかけに、平成15年から開始されたものです。歓迎セレモニーでは、入善町の堂徳春彦団長から市長に入善特産のジャンボスイカが贈られました。翌日は平筒沼ふれあい公園で、林間楽校に参加している米山町内の児童とともに、ウォークラリーや流しソーメンを楽しみ、交流活動を通してお互いの友好を深めていました。



▲皆でジャンボ流しソーメンを楽しむ、入善町と米山地区の児童たち